

大阪大学総合学術博物館 特別展

生誕100周年記念

松本奉山

The World in Ink:
MATSUMOTO
HOZAN at 100.



昭和41年(1966)シアトルのアパートにて

— 水墨画で世界を描く —

2025

4.26 Sat — 6.28 Sat

10:30~17:00

〈最終入場16:30〉

入場無料



大阪大学総合学術博物館

待兼山修学館 3階 多目的室



※日曜・祝日は休館。ただし5月3日(土・祝)は
いちよう祭のため開館
※会期中、一部展示替えを予定しています

〔アクセス〕
●阪急電鉄宝塚線「石橋阪大前駅」より徒歩10分
●大阪モノレール「柴原阪大前駅」より徒歩20分

主催/大阪大学総合学術博物館
協力/今治城、大本山摩耶山天土寺、松本奉山水墨画会
大阪大学大学院人文学研究科、大阪大学文学部
後援/神戸新聞社

松本奉山《ニューヨーク》1970年代



大阪大学総合学術博物館 特別展
生誕100周年記念

松本奉山



奉山43歳
ストックホルムにて

— 水墨画で世界を描く —

松本奉山(1925~2010、本名:松本由美子)は、水墨画で世界を描いた女性の画家です。大正14年(1925)愛媛県今治市に生まれ、昭和13年(1938)神戸市灘区に移り住み、17歳で松本尚山(1886~1970)の内弟子となり、厳しい指導のもと鍛錬を積みました。最初、油絵志望であった奉山は「水墨画で自分の描きたいものが描けるのか」という葛藤を抱えていましたが、昭和38年(1963)の初渡米をきっかけに新たな画境を切り開き、前例のない水墨画を作り上げました。その後も、オーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパ各国、ブラジル、トルコなどで個展や席上揮毫を行い、世界をまたにかけて活躍しました。一方で、兵庫や琵琶湖、瀬戸内海などの静かな風景にも心を惹かれ連作を発表しました。

この展覧会では、奉山の初期から晩年にいたるまでの作品、スケッチブックなど、およそ100点を展示いたします。そのなかには、平成3年(1995)の阪神・淡路大震災で全壊した奉山の画室から救い出された資料も含まれています。今年には奉山の生誕100年であると同時に、阪神・淡路大震災から30年になります。この節目の年に、奉山の功績を後世へ引き継ぐことができれば幸いです。



ストックホルムの家並(1979年)



ミンガンの秋(1963年頃)



タプーブリッジ(1991年)



ニューヨッ子(1971年)



冬の北欧(1979年頃)

※いずれも松本奉山作、当館所蔵

The World in Ink: MATSUMOTO HOZAN at 100.

ミュージアムレクチャー

5/10(土) 14:00~15:30

異色の女性水墨画家、松本奉山の筆あと

講師:岡 泰正(神戸市立小磯記念美術館/神戸ゆかりの美術館 館長)

★展示室でギャラリートークも行います

5/17(土) 14:00~15:30

対談トーク 私が奉山先生から学んだこと

飯嶋伸山・上斗米成山・杉本桂山(松本奉山水墨画会)

インタビュアー:波瀬山祥子(大阪大学総合学術博物館 研究支援推進員)

■各日定員30名(申込方法はHPをご覧ください)

■参加無料 ■会場:大阪大学総合学術博物館 3階セミナー室

ワークショップ

6/7(土) 14:00~16:00

簡単?むずかしい?水墨画にチャレンジ!

講師:松本奉山水墨画会(関西)

■定員15名(申込方法はHPをご覧ください)

■対象:小学生~大人(小学生以下は保護者の同伴が必要です)

■参加無料 ※硯をお持ちの方はご持参ください

■会場:大阪大学総合学術博物館 3階セミナー室

イベントの申込方法は
展覧会HPをご確認ください



神戸市立小磯記念美術館でも奉山の作品が展示されます

【特別陳列】 戦後神戸の女性画家二人展
松本奉山・中島節子

— 日本画・洋画 抽象の試み —



神戸市立小磯記念美術館で、4月11日(金)~6月22日(日)に上記の展覧会を開催します。是非あわせてご覧ください。展覧会の詳細・アクセスは美術館HPをご覧ください。

〈アクセス〉

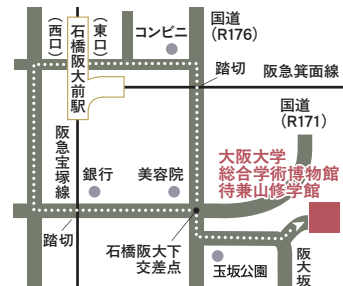
阪急電鉄宝塚線

「石橋阪大前駅」より徒歩10分

大阪モノレール

「柴原阪大前駅」より徒歩20分

※公共の交通機関をご利用ください。



問い合わせ 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-20

Tel 06-6850-6284 <https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>